



258号

2022年

1月28日

発行所 岡山大学職員組合

〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1

電話 086-252-1111 (代)

7168 (内線)

直通 TEL&FAX 086-252-4148

ホームページ <https://hb4.seikyou.ne.jp/home/ODUnion/>メールアドレス ODUnion@mb4.seikyou.ne.jp

目次： 1~2：新年のごあいさつ 2：人事院勧告について 3~4：学長懇談会報告
4：オンラインフラワーアレンジメント講習会報告 5：旅日記 6：野菜三昧



新年のごあいさつ

執行委員長 荻野 勝

皆さん、あけましておめでとうございます。新年のご挨拶をするにあたり、あまり良い言葉が見つかりませんので、ここでは新年のご挨拶に代わって、昨年印象に残った新聞記事をご紹介します。私は朝日新聞を購読していますので、朝日新聞の記事を紹介させていただきます。私の書く記事をすでに読まれた方も多いと思います。

まず、最初に印象に残った記事は、「突然の異動でエクセル自習命じられ まじめに働いたのに」というタイトルの記事です(9月13日付)。それによると、日立製作所のある女性は、1980年代から「営業事務」という「社内の部門間の取引を専用システムに入力する仕事」をして、それなりに充実感を感じていました。しかし、「選択と集中」を加速させた日立では、「女性がいた部署の業務は丸ごと系列会社に移され」、女性は転籍を余儀なくされました。

しかし、転籍後、2019年に女性は「パフォーマンスが低い」とされて、「社員のキャリア形成を支援する部署への異動」を告げられました。そして、「グループ内で配置できる職場が見つからない」、その理由はエクセルが使えないからだとして、新しい職場ではエクセルの自習を命じられたそうです。さらに女性は、上司から「社外での就職先探しも提案され」たそうです。女性はもともと転職する気などなく、なかなか就職先を見つけられないでいると、「上司から面接試験対策で『笑顔

が大事』とアドバイスを受けた」ということです。

その後、女性は「社外の労働組合に入って会社と団体交渉」を行ったところ、少し事態が改善されたようですが、この話は堤未果著『デジタル・ファシズム』(NHK出版新書)の中の、「公共部門を民間企業のビジネスにするアウトソーシング」と似ていると感じました。例えばアメリカの「福祉手当受給者」を扱うケースワーカーについて以下のようなことが書かれています。以前は、「個々の困窮者の状況にじっくり耳を傾け」ていたケースワーカーでしたが、インディアナ州では2006年に、福祉手当に関する「個人情報データの収集と監視作業という業務を民営化し、最先端のデジタル技術を持つグローバル企業であるIBMに委託」しました。

その結果、「それまで各地の福祉事業所で働いていたケースワーカーの7割は、IBMのコールセンターに契約社員として転属され、他の派遣社員とともに数値ノルマを与えられて、申請者対応をしなければならなくなりました。そして福祉手当の「給付審査に要する時間削減もボーナスの対象だったため、多くのスタッフが申請者の電話をできるだけ短時間で切り上げ、その結果受給者数は激減」したそうです。つまりケースワーカーたちは、福祉手当の申請者に寄り添うのではなく、「工場で働く労働者のごとく、時間内に割り当てられた仕事をさばくことを要求され」るようになったのです。

岡山大学職員組合では労働相談をいつでも受け付けています！

職場で、おかしいな、理不尽だな、つらいな、と思ったことはありませんか？

そんな時はお気軽に岡山大学職員組合にご相談ください。

連絡先：岡山大学職員組合 内線(7168) 086-252-4148

メール ODUnion@mb4.seikyou.ne.jp

労働相談窓口フォーム <https://forms.gle/3DmiNwKgXipnrrP28>



次に印象に残った記事は、「旭川中 2 死亡、母が語る娘の様子『何をされたらいじめか』一問一答」(11月7日付、他にもこの件に関する複数の記事あり)です。これは、北海道旭川市立中学校の生徒が凄惨ないじめを受けたことに関する記事です。その生徒は、2019年4月に中学校に入学したのですが、入学する前は活発な生徒で、「生徒会に入りたい」とか「部活に入りたい」とか言って、「やる気満々」だったそうです。しかし、入学直後からいじめを受け始め、例えば、母親の話では、ゴールデンウィークの「夜中に出かけようとするので、追いかけて制止すると『(先輩から)呼ばれたから絶対行かなきゃ』と泣いて」いたそうです。その時は母親に諭され、家にとどまったそうですが、同年6月に、「トラブルになっていた生徒らの前で『死にたい』と言って川に入り、自殺を図っ」たそうです。具体的には、「3メートル以上ある土手から飛び降り、そこから歩いて入水し」たそうです。そしてその場には、「友達」と称する中学生や小学生が十数名いたそうです。

一命はとりとめたのですが、いじめによるPTSDで、その中学生は事件の後に転校した新しい中学校へも行くことができませんでした。そして、2021年2月に母親が目を離したすきに、「知人に自殺をほのめかせた後」、家を出て、3月に旭川市内の公園の雪の中で、凍死体で発見されました。

それにもかかわらず、この生徒がいじめを受けた当時に通っていた中学校は、この件に関して「法に触れるようなことだが、いじめではない」という対応をしていたそうです。今は、今津旭川市長がこの問題を重視し、市教育委員会が第三者委員会を設けて調査中です。

記事のタイトルにあるように、どこまでが悪ふざけで、どこからがいじめなのか、という判断は難しい場合があります。しかし、被害者が自殺をしようとするまで追い詰めておいて、悪ふざけでは済まされないような気がしました。

最後に印象に残った記事は、「急逝に社員は泣いた キリンを復活させた男、最後になったメッセージ」(11月7日付)です。キリンの社長であった布施孝之氏が9月1日に亡くなったことに関する記事です。「誰に対しても分け隔てなく向き合い」、「多くの社員に愛された」布施氏は、2008年に大阪支社長に就任しましたが、なかなか思ったような結果が出なかったそうです。その時は、「社員の前で『自分の責任だ』と頭を下げた。ベテラン社員からは『支社長が頭を下げるのか』と驚かれた」そうです。

そんな布施氏が、2010年に「今度はグループの小岩井乳業社長に就くと、就任前から決まっていたリストラの実行を託された」そうです。その際、「退職者一人ひとりに自ら手紙を書き、再就職を支援した」ということです。最初に紹介した記事と関連しますが、リストラによって社内での仕事を失った人に対しては、それ相応の敬意と配慮を払うことが必要なのではないか、と改めて感じました。また、布施氏のような方にとって、自分が他の人を「リストラする」ということは、身を削られるような思いをしたのではないだろうか、とも感じました。



以上、長くなってしまいましたが、新年のご挨拶に代わって、昨年特に気になった記事をご紹介します。コロナのオミクロン株による感染が急速に拡大していますが、健康に留意されて、よい一年をお過ごしください。

2021年の人事院勧告の実施は2022年国会審議次第

組合だより257号の団体交渉の記事の中でもお伝えしたように、2021年の人事院勧告は、月例給据え置き、ボーナスが年あたり0.15月マイナスというものでした。岡山大学は国家公務員準拠ということで、国家公務員の給与が人事院勧告に従った場合、岡山大学もそれにともない12月の給与を下げるという方針でした。

国家公務員の給与は国会で国家公務員の給与に関する法律が改正されることによって変わります。しかし政府は2021年中は人事院勧告にしたがって国家公務員の給与の改正のする法律案を提出しませんでした。結果的に2021年の国家公務員のボーナスは2020年と同じ月数で支給されており、岡山大学もそれに準じて2020年と同じ月数で支給されました。

政府は、国家公務員の給与について、2021年11月24日の閣議決定において2021年の人事院勧告に従うとし、「令和3年度の引き下げに相当する額については、令和4年6月の期末手当から減額することで調整を行うものとする。」としています。

それを実行するための国家公務員の給与に関する法律の改正は現在行われている2022年の通常国会で審議されるものと考えられていますが、現時点(2022年1月26日時点)で、まだその法律の改正案がでておりません。ですので、2022年6月の期末手当の減額が、0.075月の減額になるのか、2021年分も上乘せされた0.15月あるいは0.225月になるのかはわからない状況です。またそれに対応して岡山大学がどのような対応を行うのかも現時点ではなにも決まっていない状況です。



学長懇談会懇談報告



2021年8月19日に、組合の新役員と学長との懇談会を行いました。新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、今回は人数を絞って対面で懇談を行いました。出席者は、大学側から榎野学長、高橋企画・評価・総務担当理事、高月総部・企画部長の3名、組合側からは荻野委員長、大橋副委員長、笹倉副委員長、藤原書記長の4名でした。

まず学長から第4期中期目標・中期計画の概要についての説明があった後、組合から事前に提出していた5項目について懇談しました。



1. 新型コロナ対応の見通し

7月9日に岡山大学でもコロナワクチンの職域接種が始まったこともあり、ワクチン接種が進むことによって今後の授業や研究活動等の大学の対応については変化があるのかを組合から質問しました。今後、岡山県あるいは近隣の府県に再び緊急事態宣言が発せられた場合、大学に来なければ研究ができないような教員については例えば大学の近くの空いている宿舎に臨時的に居住可能として大学に来ることができるようにするなどの工夫はできないのかを質問しました。また、岡山大学病院の状況等についても質問しました。

学長によると、ワクチンの接種状況は（懇談の時点で）学生の7割が接種済みであるとのことでした。ただ、岡山県の感染状況ステージが上がればそれにしたがって岡山大学の活動制限指針レベルも上げるという対応は変わらないとのことでした。

緊急事態宣言が発せられた場合、岡山大学病院では感染拡大地域からの通勤者が勤務できるよ

うに、居所移転手当を出して岡山大学病院の近くに居所を移してもらって出勤可能にしているとのことでした。津島地区についても要望があれば職員宿舎の空き部屋を貸すなどの対応は可能ということでした。

2. 学生の経済的困窮について

新型コロナウイルスの影響が長引いている現在、岡山大学の学生の生活状況の把握状況と困窮学生の支援について質問しました。

今年度は、学費の全額免除が増えており、学生の家庭の経済状況が悪化していると考えられるとのことでした。岡山大学としては、学生相談室、学生支援課など、学生から相談しやすいようにしているとのことでした。

3. 教学担当理事の交代について

2021年4月に教学担当理事が、佐野理事から舟橋理事に交代となったことについて質問しました。交代は本人の意向ということで、舟橋新理事は大学院改革の担い手であり、期待しているとのことでした。

4. センター入試手当について

2018年度まで支払われていたセンター入試手当が、2019年度に廃止となり、超過手当勤務での対応となりました。しかし、実際にセンター入試（現在は共通テスト）の要員を担当した教職員からは、他の入試と比べても緊張して臨まなければならない業務であり、手当が欲しいという声があがっています。この件については組合から組合員の声をお伝えしました。



5. 障がい者雇用のビジョンについて

岡山大学は2021年4月30日に「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」を制定しました。ダイバーシティの中にはもちろん障がい者も含まれます。岡山大学における今後の障がい者雇用のビジョンについて聞きました。

学長は現状ではグッドジョブセンターに障がい者雇用を集中させたため各学部で雇用がなかなか浸透しないのが課題だと考えているとのこ



とです。また高橋理事からは、グッドジョブセンターの機能や障がい者の方により良く働いていただくための環境づくりを考えていきたいとの発言がありました。

この他にハラスメント問題への対応についての意見交換も行いました。

さまざまな環境が変化する中、2022年4月から第4期中期計画期間がスタートします。岡山大学も他の大学同様、さまざまな課題を抱えています。岡山大学職員組合は、岡山大学をよりよい大学にしていくために活動していきたいと思えます。

12/15 オンラインフラワーアレンジメント講習会を開催しました



12月15日(水)12:40~13:20にオンラインによるフラワーアレンジメント講習会を行いました。14名の方にご参加いただき、クリスマスに家で楽しむのにふさわしい、クリスマスツリーのようなデザインのフラワーアレンジメントを作成していただきました。

今回、農学部研修に来られている岡山県の農業高校の教員である三上友理恵さんに講師をお願いして、zoomを利用して実施しました。初めてのオンラインの試みということで、作り方などがうまく伝わるか心配しましたが、参加された皆さんの作品を見ると大変きれいに作られておられて満足いただけましたようでした。

農学部の後藤先生と先生の研究室の学生さんには、バラ、ガーベラ、ダリア、スターチス、カスミソウなどの花を提供いただき、また当日も、学生さんにお手伝い頂きまして大変感謝しております。また実施してほしいという声も多数いただいておりますので、同様の企画を計画したいと考えております。(安場)

Thank you for a wonderful lesson! We had a lot of fun!

(Susan Meiki)

オンラインによるフラワーアレンジメント講習会は初めて参加しましたが、とても楽しく参加させていただきました。御礼申し上げます。また機会がありましたら、参加させていただきます。素敵な花材をご準備くださった先生方にもよろしくお伝えください。(毛利)

お申し込みは、各単組役員もしくは組合事務所まで。
メールからも、お申し込みできます。
岡山大学職員組合 ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

あなたも組合
の仲間になり
ませんか？



ローカル線で行く！フーテン旅行記

第85回 さようなら！快速 サンライナー 新快速と岡山の関係

工学部職員組合 大西孝

毎年3月に行われるJRのダイヤ改正、かつては新しい列車の登場や新型車両のデビューにワクワクしたのですが、最近は列車が減るのではと心配が先に立ちます。今年の3月12日(土)に行われるダイヤ改正では、コロナ禍の影響で全国的に減便が目立ちますが、岡山地区でも大きな変更があります。何といたっても目立つのは、岡山と福山を約50分で結ぶ快速 サンライナーの廃止です。

サンライナーは、国鉄が民営化されて間もない1989年に登場しました。途中の停車駅は倉敷、新倉敷、笠岡の3駅だけ(後に東福山駅が追加)で、1992年からは進行方向を向いた座席が並ぶ117系電車が使われ、運行本数も増えました。117系には、白をベースに赤のグラデーションをあしらった小粋な塗装が施され、岡山にも関西の新快速に匹敵する列車があると喜んだものでした。2000年頃の岡山から福山方面の時刻表を見ると、昼間は1時間にサンライナーが2本、普通は4本もあり、現状の普通が1時間に3本しかないダイヤと比べると、ずいぶん列車が多かったことが分かります。しかし2009年にはサンライナーの昼間の運行が廃止され、2019年の春以降は夕方のラッシュ時だけの運行となっていました。そして、ついに次のダイヤ改正で全廃され、山陽本線を疾走する快速も思い出の列車となってしまいます。

ところで1970年に走り始めた新快速と岡山地区の在来線の電車には深い関係があります。登場当時の新快速には普通の電車が使われていましたが、1972年から冷房が付いた急行型の車両が

使われるようになりました。座席こそ硬いボックスシートだったものの、特別料金が必要な特急や急行以外での冷房サービスは、当時、破格のことでした。新快速に転用された急行型電車は、山陽新幹線の岡山延伸(1972年3月)で急行列車が削減されて余ったもので、初期の新快速と岡山の関係を物語るエピソードです。

では今回、サンライナーから撤退する117系はどこから来たのでしょうか？実は、関西の新快速のお下がりです。117系は1979年に新快速のために開発され、私鉄との競争が激しい地域でさらなるサービス向上を図るために、当時の特急列車に近い座り心地を誇る座席が惜し気もなく使われました。クリーム色の車体に茶色の帯を巻いた流麗な姿は、変わり映えのしない国鉄の車両の中では別格の存在でした。

JR西日本が発足して間もなく、乗降をスムーズにするために片側に3か所の扉を設けた221系が関西地区に導入され、今度は117系が玉突きで岡山へ移り、サンライナーに活躍の場を見出しました。221系も実に優れた電車で、真っ白なボディにベージュの帯を巻き、眺望の良い大きな窓を持ったスタイリッシュな電車は、国鉄の民営化を実感させてくれました。前方の見晴らしも素晴らしく、筆者が子供の頃には運転室の後ろにへばりついて、時速120キロを指すスピードメーターを眺めたものでした。しかし、この221系も登場から30年以上がたち、近いうちにJR京都線・神戸線からは撤退する見込みです。

サンライナーでは一昔前の新快速のような走りっぷりを体感できますが、これも3月11日までと思うと寂しいものです(117系自体は改正後も普通列車として残ると思われます)。今回は「鉄分」の多い内容でしたが、筆者の鉄道好きの原点となった思い出深い車両にまつわる話でしたので、ご容赦願います。



赤のグラデーションをあしらい、おしゃれな塗装に身を包んだ117系。今は黄色一色になってしまいましたが、サンライナーといえばこの塗装です。



117系を岡山へ追いやった221系(左)。民営化を実感させる素晴らしい電車でしたが、今や最新型の電車(右)に追われる身となり、近いうちにJR京都線・神戸線では見納めとなる予定です。



新快速に投入された当時のシックな塗り分けの117系。片側に2か所の扉を持ち、窓がずらりと並ぶ車体とよく似合う、美しい塗装でした。



福山城をバックに発車を待つサンライナー。車内には座り心地の良い椅子が並びます。オレンジ色の「快速」の行先表示も見られなくなります。





野菜三昧 ～番外編 カリフラワーでメリークリスマス🎄～

農学部職員組合 安場健一郎

昨年末にフラワーアレンジメントを企画したのですが、講師の三上さんにサンプルでクリスマスのアレンジメントを作ってもらったときに、ビビッとひらめいたのがコラボする野菜三昧！何を書くかなと悩んでいた矢先、プラプラ歩いてふと見つけたのがカリフラワー。よく見ると、白くて雪っぽいし、形もツリーぽいし、なんかサンタの髭っぽいし、見れば見るほどクリスマス,,、ですよ。



圃場で栽培しているカリフラワー。外葉は虫に食われてますが元気に育っています。奥に見えるのがブロッコリーで並べて撮影しました。

カリフラワーとブロッコリー

この二つの野菜はよく似てますが、分類学的にも同じ植物です。ちなみにキャベツも同じ植物でこれらの植物を相互に受粉させると種子を取ることができます。もともと、ヨーロッパに生えていた雑草を少しずつ品種改良してこれらの野菜が作られたと考えられています。最初にできたのがブロッコリーでそれを改良したのがカリフラワーといわれています。明治時代に入ってこの2つの野菜は日本で栽培され始めたのですが、最初はカリフラワーが普及し、ブロッコリーの本格的な普及は戦後かなりたってからです。ただ、今はブロッコリーの生産量の方が圧倒的に多くなっています。

カリフラワーの栽培

カリフラワーの栽培ですがブロッコリーと大きく変わるところはないのでそれほど難しくはないと思います。ブロッコリーよりも高値で販売されていますし、家庭菜園で作ってみるのもおすすめです。岡山では夏(8月ころ)に種をまいて、秋～冬に収穫するのが作りやすいと思います。栽培初期にはとにかく芋虫がたくさんつきます。手(足でもOK)でつぶしたり、BT剤をかけたりして気温が下がって虫がつきにくくなる時期までひたすら我慢します。そのあとは放っておいてもそのうち蕾



寒くなると色々な部分が紫になったりします。販売するとなくなると問題になりますが、家庭菜園では気にすることはないです。紫やオレンジのカリフラワー品種もありますので。

が出てきてカリフラワーができます。産地では白さを保つために蕾を葉で包んで栽培したりしますが、無精者の私はちょっと黄色くなくても気にならないのでほったらかしで栽培してます。ちなみに寒い時期に収穫すると一部が紫色になったりしますが、全く無害ですし茹でると色が消えますので気にしなくて大丈夫です。

ポターージュとグラタン風

カリフラワーの食感が苦手な人に圧倒的におすすめなのがポターージュですね。紹介して作った人は皆、“うまいっ”と、多分言いますのでおすすめ料理ですね。フライパンにバターを入れてみじん切りにしたタマネギを色づかないように炒めます。下茹でしたカリフラワーと上のタマネギと合わせて軽く炒めて、水とコンソメの素とローレルを投入して柔らかくなるまで煮込み、柔らかくなったならローレルを除いてミキサーでつぶしてピューレぼくします。これに牛乳を入れて塩コショウして味を調べて温めれば完成です。牛乳の濃度を調整して硬めにすればスパゲッティのたれにもなりますし、ピューレぽいのを作っておくといろいろと便利です。



カリフラワーを使ったポターージュです。簡単に作れますし、冷凍庫で保存しておいても良いですね。



カリフラワー料理と三上さんのフラワーアレンジメントを並べて、学生に借りたスタバカップを使って写真を撮りました。アレンジメントがクリスマス風ですのでメリークリスマス～♪って感じになりました！

野菜三昧用にピューレを利用してグラタン風のものを作ってみました。ピューレに生クリームを入れてグラタンのたれのようなものを作ります。耐熱容器に下茹でしたカリフラワーを敷き詰めて、チーズをかけて、たれのようなものをさらにかけて、

上にミニトマト、オリーブ、ゆでたブロッコリーとカリフラワーをのせてオーブンでしばらく焼いて出来上がり。小麦粉アレルギーの人でも食べられるグラタン風になりました。なお、焼く前にパン粉を振りかけると、焼目もついておいしそうに見えると思います。

カリフラワーは白さを生かした料理に最適ですね。ぜひ、今が旬のカリフラワーをぜひ試してみてください。最後になりましたが、今年も職員組合をよろしく願います。気楽にいろいろ相談にいらしてください！

